

前線に伴う降雨及び融雪による防災情報(第4報)

最上川ダム統合管理事務所では、前線に伴う降雨及び融雪により寒河江ダムへの流入量が洪水量200m³/sに達したことから、5月18日6時00分に災害対策支部体制を「警戒体制」に移行しました。

1. 出水の概要

最上川ダム統合管理事務所では、前線に伴う降雨及び融雪により平成30年5月17日17時00分に「注意体制」に入っておりましたが、寒河江ダムの流入量が洪水量に達したことから、5月18日6時00分に災害対策支部体制を「警戒体制」に移行しました。

2. 管内ダムの現在の流入量(6時00分現在)

寒河江ダム：202 m³/s

3. 今後の見通し

最上川ダム統合管理事務所管内では、降雨の状況から徐々に流入量が増加する見込みです。下流の河川では、今後の降雨の状況によっては、水位が急激に上昇する可能性がありますので、気象情報やダム情報に十分に注意してください。

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 最上川ダム統合管理事務所
山形県西村山郡西川町大字砂子関158
調査課長 ^{カタキリ}片桐 ^{シノベ}真也 (内線351)

電話 0237-75-2311(代表)

平成30年5月18日 06時00分 現在 各ダム の 状況

寒河江ダム

ダム貯水位 : 標高 393.34m
 ダム流入量 : 約202m³/s
 ダム放流量 : 約195m³/s (発電のための放流含む)
 流域平均時間雨量 : 1時間に 4.5mm (5月18日5時00分～5月18日6時00分)
 流域平均累計雨量 : 降り始めから 30.4mm (5月17日23時00分～5月18日6時00分)

